

定例教育委員会会議録

令和3年12月21日

境港市定例教育委員会（令和3年12月21日委員会会議録）

招集年月日 令和3年12月21日 15時30分

招集場所 市役所第一会議室

開 会 15時30分 教育長宣言

教育委員会 教育長 松本 敏浩

委 員（職務代理人） 中田 耕治

委 員 十河 淳 渡邊 不二子 徳永 由樹

教育長から説明のため出席を求められた者

教育委員会事務局長 松 原 隆

教育総務課長 亀 井 功

教育総務課長補佐兼指導係長 柳 樂 力 人

生涯学習課長 松 本 昭 児

生涯学習課文化体育係長 竹 内 勝

教育総務課長補佐兼管理係長 足 立 統

傍聴者数 なし

会議書記 教育総務課長補佐兼管理係長 足 立 統

協議事項 12月定例市議会教育委員会関係質問答弁について

報告事項 境港市学校給食センター調理等業務委託事業者審査結果について

境港市学校給食センター運営委員会について

12月の行事報告、1月の行事予定

【1. 開会】

松本教育長 ただいまから12月の定例教育委員会を始めます。

【2. 前回議事録承認】

【3. 議事】

松本教育長 本日は議案がありませんので、協議事項からになります。協議事項は12月定例市議会教育委員会関係の質問答弁についてです。事前に資料をお配りしていますが、質問等あればお願いします。

渡邊委員 誠道小学校のグラウンドの利用について質問が出ていますが、校舎の方の活用は決まっているのでしょうか。実績等あれば教えていただけないでしょうか。

亀井課長 誠道小学校については、現在新しい図書館がオープンするまでの図書の仮置き場になっており、一般には解放していません。

渡邊委員 今後の展望はありますか。

亀井課長 校舎については総務課の管轄になるのですが、実はこの地域は市街化調整区域になっていまして、なんでもかんでも使用できるわけではありません。また、誠道小学校は国の補助金を活用して整備しているため、例えば民間に有償で貸し出す場合には、目的外使用ということになり、補助金の返還が生じます。議会からも利活用について問われているのですが、今その辺りを模索している状況です。

渡邊委員 なかなか大変なのですね。

亀井課長 市街化調整区域というところが一番のネックになっていて、渡小学校、第二中学校、第三中学校についても同様に市街化調整区域になりますので、将来的に統廃合という話になった場合は、その辺りがネックになってきます。

中田委員 誠道小学校について、愛好家団体が利用するグラウンドゴルフ

場として管理を利用者が行ったうえでとありますが、以前からすごく気になっているのが、公園等も利用者が管理をしていると思いますが、「管理をしているから」ということでその人たちの声が大きくなるというところがあって、子どもたちの利用が少なくなる、遠慮気味になるということも出てくると思いますが、その辺りがどうなのかと。今はわかりませんが、以前は怒られたということも聞いていたので、そういった事例がたくさん出てくると子どもたちの外での遊び場の確保というところがどうかと思うのですが、いかがなものでしょうか。

亀井課長

旧誠道小学校のグラウンドについては、今は定期的な貸し出しは行っていなくて、基本は地元利用が優先になります。空いているときには使用ルールや管理等についてしっかり話をしたうえでということになると思います。他の公園等と違って、現在のところ利用されていませんので、言われるようなことについても話をしながらやっていくことになると思います。

松本教育長

誠道小学校のグラウンドについては、ボランティアの方が定期的に草刈り等していただいていますので、地域の方が利用できる状況になっています。今年度、市のグラウンドゴルフの協会から西部地区の大会をしたいのでグラウンドを貸してほしいという申し出があり、いったんは許可したのですが、モグラがいるらしくて、とても大会ができないということでキャンセルになった経緯がありました。ただ、地域の方には積極的に使用していただきたいと思います。ちなみに私の近所の第一公園については、毎日グラウンドゴルフをしています。子どもが来るとずっと引いて、子どもがいなくなってから再開するような感じでされており、真夏でも暑いさかりはグラウンドゴルフを、夕方涼しくなった時間帯には、子どもがやってきて遊ぶような感じで、かなり意識されていると感じました。すべての公園がそうなのかはわかりませんが、その辺りは上手にやっていく必要があると思います。そのほかいかがでしょうか。

十河委員

竜ヶ山陸上競技場について現在のところ全天候型への改修は考えていないということですが、境港でも陸上競技で優秀な子がたくさん出てきています。竜ヶ山は100m分しかなくて、単純な100mだけの子であれば良いのですが、リレーでも優

秀な子が出ていますし、その子たちが他の競技場に練習に行くということも難しいと思います。境高も含めて小中学生が他の競技場に行っても力が発揮できるような場が欲しいと思うのですが、5年、10年の単位で考えていただいて、ゆくゆくは全天候型への改修ということも検討していただきたいと思います。クレーの場合、子どもの体に対する反発や負担が少なくて良いと言われていますが、クレーのトラックでは全国的な大会は行われないので、竜ヶ山で練習して全国に出ていけるような子どもたちを増やしていただきたいと思います。鬼太郎カップ駅伝でも水はけの問題とかあって、ゴール付近が水たまりで大変なことになっていますので、その辺りも含めて検討していただけたらと思います。

松本教育長

議員さん含め陸上関係者からそういった要望が出ていますが、改修ということになると億を超える大きな事業になります。現状、陸上の県大会は布施、水泳は東山というように割り振りされています。そういった中で境港を全天候にするということは、出費も大きく、難しいと考えております。むしろ駅伝のまち境港というところを意識した場合、言われるように現在の競技場は雨が降ると滑りやすいのですが、走れないことはないのです、でこぼこしたり、何か傷んだりした場合にはすぐに改修したいということをして議会でも答えてきました。確かに優秀な選手が出ており、今年度も全中で入賞するような選手も出ています。小学生、中学生、高校生が合同で練習することが定着してきて、小学生、中学生も高校生の素晴らしい走りが刺激になって、活気のある練習をしています。5年、10年という中で、今後こういうことも考えていかないといけないかもしれません。そのほかいかがでしょうか。

渡邊委員

余子公民館で始められた放課後こどもタイムについて、どのようにされているのか伺いたいです。まだ始まったばかりで実績も少ないと思いますが、何か情報があれば教えていただけないでしょうか。

松本課長

12月8日からスタートしまして、週1回水曜日に開催していく計画になっています。現在61名の小学生が登録されており、初回は25名の参加があったということで、これからやっ

ていく中で課題等が出てくると思います。実は先ほど「外でボール遊びする際にボールが道路に転がるのを防ぐためのネット等の予算がありますか」というような相談もあり、これからそういったこともいろいろ出てくると思います。一方でどんどん予算をかけてやってくださいとなると、学童があるのに予算をかけて同じようなことをするのかということになるので、こちらは公民館の人的リソースや施設を活用して、地域の方の力も借りてお金はかけないけど持続的な取り組みを学童とは違う形でやっていくという趣旨のものだと思いますので、そういった整理もこれからきちんとしていく必要があると思います。

渡邊委員

学童に行っている子がそちらに行きたいといった場合、行っても良いということなのですか。

松本課長

その辺りの細かいルールのすり合わせもこれからの課題になります。今のところは学童の側がその日公民館に行くと言った場合は、学童にはもう戻れないというルール設定にされていると聞いていますので、行きたいときに抜けて戻るといったようなことは現状想定していないと思いますが、これも今後一番良い形に着地していくような話になっていくと思います。

徳永委員

子どもたちは勝手に帰るのですか、お迎えがくるのですか。

松本課長

お迎えが来ると聞いています。

徳永委員

場所は提供しているが、誰かをつけるというのではないということですか。

松本課長

公民館の職員がついています。私が行ったときにはCSの委員さんもいましたが、基本的には公民館の職員と地域の方で見守るということになります。

十河委員

見守りの方は何名くらいになるのですか。

松本課長

初回は地域の方が4、5名おられました。当番制にするとか、可能なときに来ていただくといった細かいことはこれから考えていくことになると思います。基本的には場所が解放されてい

ますので、来たい子は来て、5時まで自由に過ごしてくださいという考え方になります。そこを作り込んで難しくしてしまうと自由度がなくなりますので、先ほどの話ではないですが、学童もあるのになってしまうので、まずは公民館の自主的なやり方に任せたいと考えています。

松本教育長

児童クラブは両親が就労により家庭におられない子の居場所づくりとなりますので、目的は安全ということになります。今、余子や外江公民館でもやっていただいているのは、子どもたちに地域の中に学習或いは体験の場を提供するという放課後子ども教室的な要素が強くなっていて、ねらいとしては地域の方と一緒に学ぶ機会を作ることだと思っています。私はこの環境を願ってしまして、楽しい雰囲気の中で大人の人と触れ合う、子どもにとっては学びの場ですが、大人にとっても元気な場になりますので、どこの公民館でもこういった活動ができれば良いなと思います。

十河委員

基本は見守りというスタンスですか。

松本課長

最初見させていただいた際は、初めにこういうことを守ってくださいといった注意事項の説明があり、まずは勉強タイムということで部屋の中でみんなが宿題をやり、それが終わったら遊んで良いという形になっていて、しっかり作っておられるという印象でした。

松本教育長

先日の講演会の話でも、子どもの頃に地域の方と関わった経験を持った子どもたちは進学で都会に出ても帰ってくる確率が非常に高いという話もあって、人口流出の部分でも境港にとって重要なのかなと思います。中浜は学校から距離があって、なかなか公民館に子どもが来ないということを館長が言っておられたのですが、公民館祭では小学生が仕切って、運営の一部を行っていましたので、そこはすごく価値のあるお手伝いができたと思います。館長同士も刺激しながらやっていますので、競争心も出てくるのかなと思います。そのほかいかがでしょうか。

今回一番大きな問題として、今後の学校編成のあり方について2人の議員から質問がありました。児童生徒数が減少していく中で校舎は老朽化により改修が必要になってくるが、教育委

員会として今後どのように境港市の学校を編成していくのか、校区審議会でも将来的には3つの中学校の敷地或いは隣接地に中学校区の小学校を統合させて一貫校をつくるということが審議会から提案されているが、どのように実現するのかというような内容です。児童数の推移を見ていく必要があるのですが、今3つの中学校区の小学校を統合して、一つの小学校にするとかなり規模の大きい小学校になります。そのために大きな校舎を造ることは経済的に無駄が出てきます。また、文科省の適正規模である12～18学級を大きく上回ることになりますので、子どもの減り方にも注意していく必要があると思います。一つの学校が450人くらいになると、適正規模の上限に入りますが、校舎はすぐには建設できませんので、その辺りを予測しながら、土地をどうするか等の問題も含めて、10年くらいかけて新しい学校を造っていくことになると思います。中学校1校でも良いのではという意見もありますが、中学校1校になると規模も大きくなりますし、学校間で競い合うということもなくなります。

渡邊委員

夕日ヶ丘のように家が建っていくようなところはないのですか。

松本教育長

夕日ヶ丘は上手に人が増えたのですが、次の手はまだ出てないですね。

十河委員

大畑先生の講演でもあったように人をつくっていくというスタンスに立って、地域行事に参加する子どもを増やすようなサイクルをつくって、境港に住みたいという子どもを増やしていくことが人口の安定につながっていくのかなと思います。

松本教育長

子どもたちが地域で教わったり活動したりという経験をしっかりつくっていく必要があると思います。協議事項についてはよろしいでしょうか。それでは報告事項に入ります。最初に境港市学校給食センター調理等業務委託事業者審査結果と給食センター運営委員会について、説明をお願いします。

【4. 報告事項】

亀井課長より説明

松本教育長

ただいまの説明について質問等ありますでしょうか。

徳永委員

食育推進のところで学校訪問の回数に結構な差があるのですが、何か理由がありますか。上道小はとて多くて、逆に二中は少ないのですが。

亀井課長

運営委員会の中でも同じような質問があったのですが、上道小学校が多いのは学級毎に訪問したことと、通常1回訪問のところを依頼があって追加の訪問もあったためだということでした。

徳永委員

二中が少ないのはどうしてですか。

足立補佐

学年毎の訪問だと3学年になりますので、このような回数になると思います。栄養士から働きかけもしてもらっていますが、やはり学校や先生によって意識に差はあるようです。このことは、残菜を減らす取り組みでもそうなのですが。

渡邊委員

市の方針として食育推進に力を入れておられると思いますが、学校訪問については要望したらどこの学校にも来ていただけるものなのですか。

足立補佐

栄養士の方で学年毎にその年齢にあったテーマを設定し、それを各校にお示しして希望する日程を連絡してもらうので、日程がかち合って再調整ということも若干はあると思いますが、基本的にはウェルカムということでさせてもらっています。

渡邊委員

もしかしたら担当者任せになっているということもあるのでしょうか。

足立補佐

毎回参加しているわけではないので、たまたまなのかもしれませんが、献立委員会の中で前月の給食について各校から評価をいただくのですが、「魚料理で骨があって食べるのに時間がかかりましたが、子どもたちが頑張って食べていました」というように、子どもの様子をしっかり伝えてくださる先生もあれば、全く発言がないような先生もおられ、意識の差はあると思います。

徳永委員 ちなみに昨年度の地産地消率はどうだったのですか。

足立補佐 令和2年度は58%で令和元年度は55%なので若干上がっています。県の担当からも県全体が落ちている中で境港は上がっていましたので、一応褒めていただきました。ただ、今年度はコロナ等の影響もあって、少し落ちるかもしれませんが。

松本教育長 地産地消については地元の農家の方に協力していただいて伸びていますが、東部中部のJAの協力体制と西部の対応に差があって難しいところがあります。また、ご指摘いただいたような食育推進や残菜については、校長先生方は知っておられますか。

足立補佐 小・中学校からそれぞれ校長先生1名ずつ運営委員会に出てもらっていますので、そこからどのように伝わっているかというところと、各校に給食担当の先生もおられますので、その辺りの伝達がどのようになっているのかというところだと思えますが、どこまで伝わっているかという部分は把握できておりません。

松本教育長 こういった資料は校長会等で校長先生方に提供しておく必要があると思います。

十河委員 残菜の量を見ると学力とリンクしているところがあるのかなという数値になっていますので、学校の先生方にも周知しておく必要があるかと思えます。

徳永委員 保護者も知っていないといけないのでは。

十河委員 学校で食べる、食べないと言う前に子どもの好き嫌いについて家庭でしっかりと教育されないといけないと思いますので、この数字をたくさんの人に見ていただき、考えていただけたらと思います。

松本教育長 学力と残菜の関係については私も疑っておりますが、やはり家庭への啓発はしっかりやっていく必要があると思います。昔は強制的な指導もあったのですが、今はそういった指導はでき

ません。栄養バランスを考えた給食を提供していますので、家庭にも認識していただき、連携していく必要があると思います。

柳楽補佐

コロナ禍で学校も園も黙食になっていますので、これもどこかのタイミングで解いていかないと、園を回らせてもらった際に年長児が黙々と給食を食べていたのですが、本来給食というのは楽しいはずのものなので。

徳永委員

まだ黙食なのですか。

松本教育長

黙食です。仕切りがないので。

柳楽補佐

話をしながら食べることで雰囲気も良くなるのですが、全員が前を向いて、距離をとって食べている姿は少し異様ですね。

十河委員

運営委員会はどのくらいの頻度で行っているのですか。

亀井課長

基本的には年1回です。

足立補佐

今回はコロナもあって開催が遅れたのですが、通常は決算が確定する夏休み前に行う形です。

松本教育長

委員さんはとても熱心で良いアドバイスもいただいております。ちなみに給食センターのHACCPはどうなっていますか。

足立補佐

審査会の中でも質問が出たのですが、東洋食品も境港の給食センターではまだ認証をとってなくて、米子の給食センターでは認証をとっているようなので、境港もその方向で向かいたいという話をいただいております。

松本教育長

給食についてはよろしいでしょうか。それでは行事報告・行事予定についてお願いします。

《教育総務課 生涯学習課 行事等報告》

松本教育長

ただいまの説明について質問等ありますでしょうか。

【5. 閉会】

松本教育長

それでは議題は終了しました。本日の定例教育委員会は閉会といたします。ありがとうございました。